

令和5年度 第2回桶川市都市計画審議会

都市計画マスタープランの改定及び
立地適正化計画の策定について

説明資料

令和5年11月29日

目 次

- | | | |
|---|----------------|-------|
| 1 | 都市計画審議会のスケジュール | p. 3 |
| 2 | 本市の現状分析（中間報告） | p. 4 |
| | ア）各種データによる現状分析 | p. 5 |
| | イ）市民意向の把握 | p. 12 |
| | ウ）現行計画の達成状況の把握 | p. 14 |

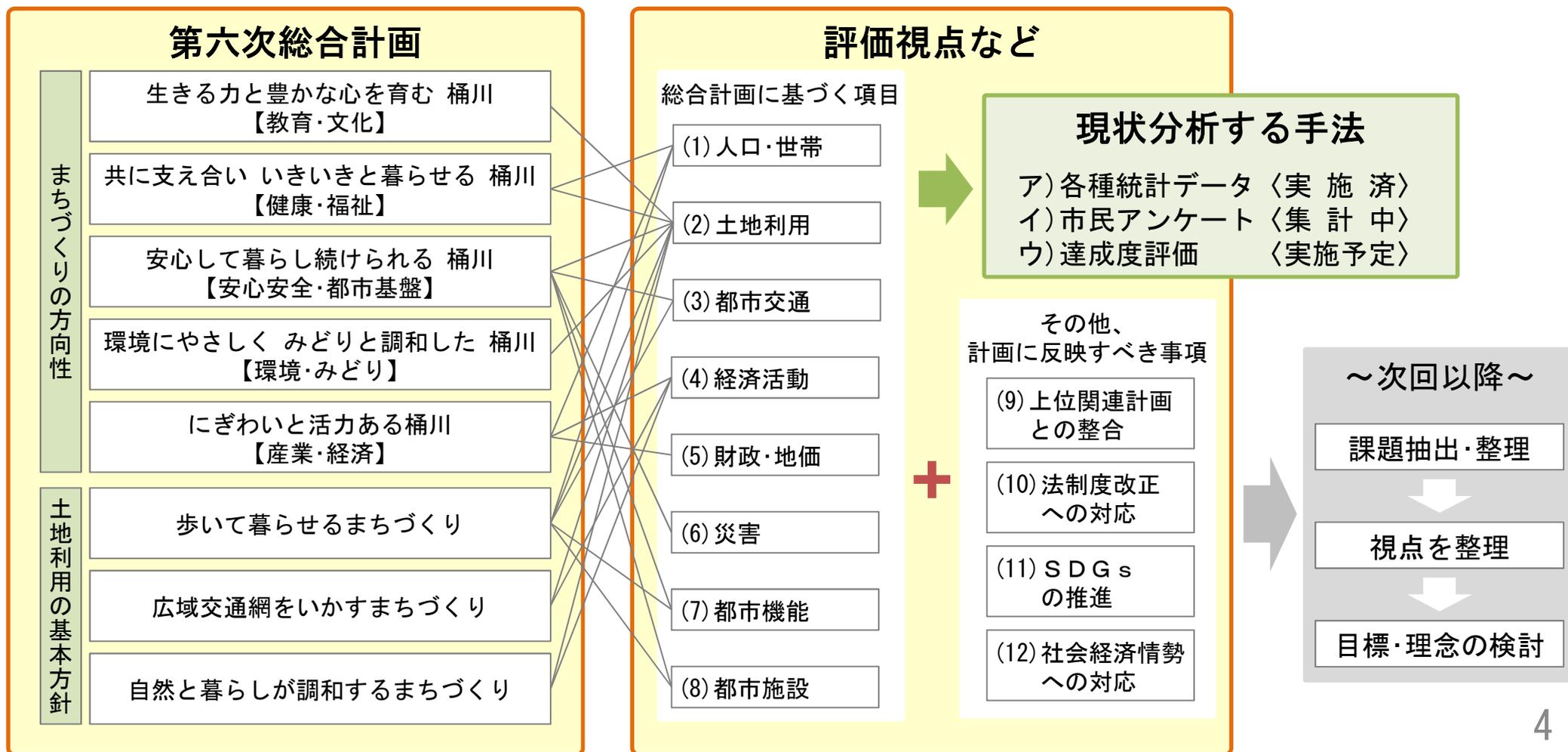
■都市計画審議会のスケジュール（案）

開催予定時期		内容		都市計画マスタープラン	立地適正化計画
令和5年度	1回目	令和5年6月23日		・計画の概要の説明	
	2回目	令和5年11月29日		<ul style="list-style-type: none"> ・本市の現状分析の中間報告 <ul style="list-style-type: none"> ア) 各種データによる現状分析 イ) 市民意向の把握 ウ) 現行都市計画マスタープランの達成状況の把握 	
令和6年度	3回目	令和6年7～8月頃	意見聴取	<ul style="list-style-type: none"> ・将来都市像、将来都市構造の確認 ・都市づくりの目標の確認 ・全体構想（構成）の確認 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・目指すべき都市構造と誘導方針の確認 ・都市機能誘導区域の位置・規模の確認 ・居住誘導区域の位置・規模の確認 ・誘導施設、誘導施策の考え方 等
	4回目	令和6年12月頃	意見聴取	<ul style="list-style-type: none"> ・全体構想の確認 ・地域別構想の確認 ・計画（原案）の内容確認 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・誘導施策の確認 ・防災指針の取組方針の確認 ・計画の評価指標及び目標値の確認 ・計画（原案）の内容確認 など
	5回目	令和7年2月頃	諮問・答申		<ul style="list-style-type: none"> ・住民説明会での意見と対応方針の報告 ・パブリックコメントでの意見と対応方針の報告 ・計画（案）の内容確認

★
本
日
★

■現状分析と課題抽出の流れ

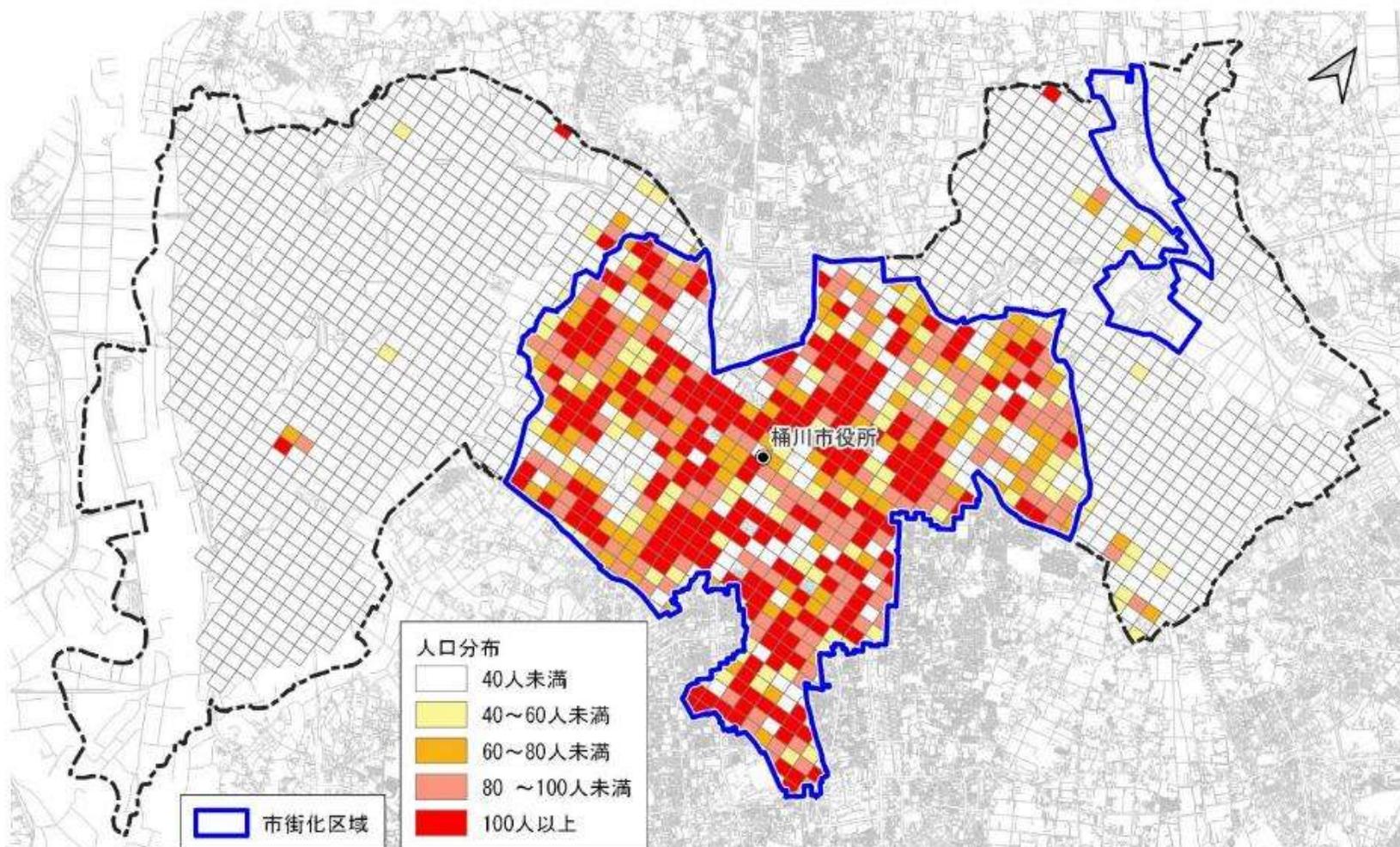
- 計画の策定にあたっては、第六次総合計画で掲げる「まちづくりの方向性」と「土地利用の基本方針」に基づく評価視点と、その他計画に反映すべき事項にて現状分析します。
- その後、各手法を用いた現状分析の結果を受け、課題を抽出し、解決するための目標と理念を検討します。



■人口分布

- 令和2年は、市街化区域に100人/ha以上の分布が多くみられます。

【人口分布 令和2年（2020年）現在（100mメッシュ）】

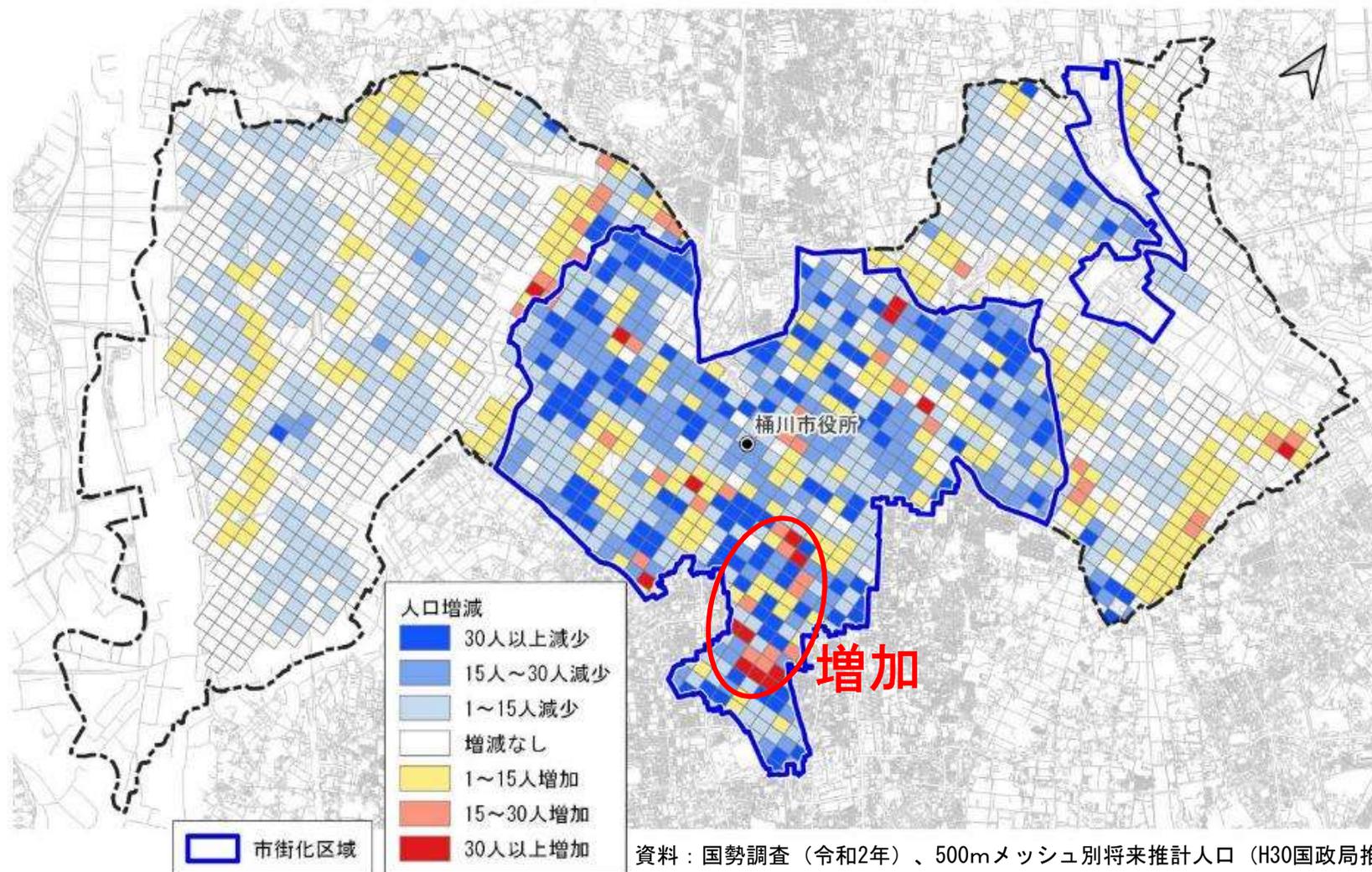


資料：国勢調査（令和2年）、500mメッシュ別将来推計人口（H30国政局推計）

■人口動向

- 令和2年から令和22年推計値による20年間の増減数では、市街化区域で30人/ha以上の減少が全体的に点在していますが、一方で市街化区域の南側で30人/ha以上の増加がみられます。

【人口増減 令和2年（2020年）⇒令和22年（2040年）（100mメッシュ）】

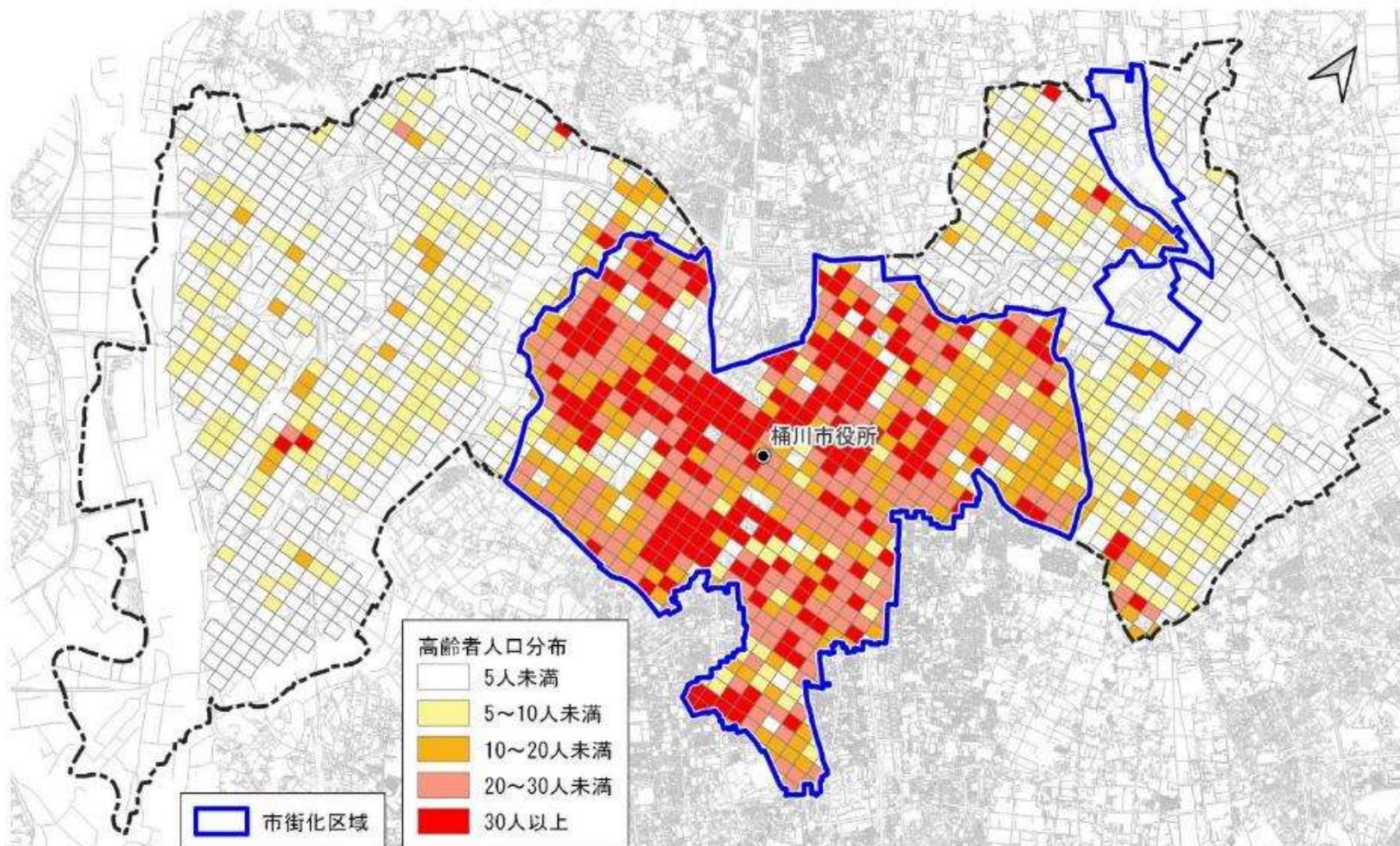


資料：国勢調査（令和2年）、500mメッシュ別将来推計人口（H30国政局推計）

■ 高齢者人口分布

- 令和2年は、市街化区域に高齢者人口30人/ha以上の分布が多くみられます。

【高齢者人口分布 令和2年（2020年）現在（100mメッシュ）】

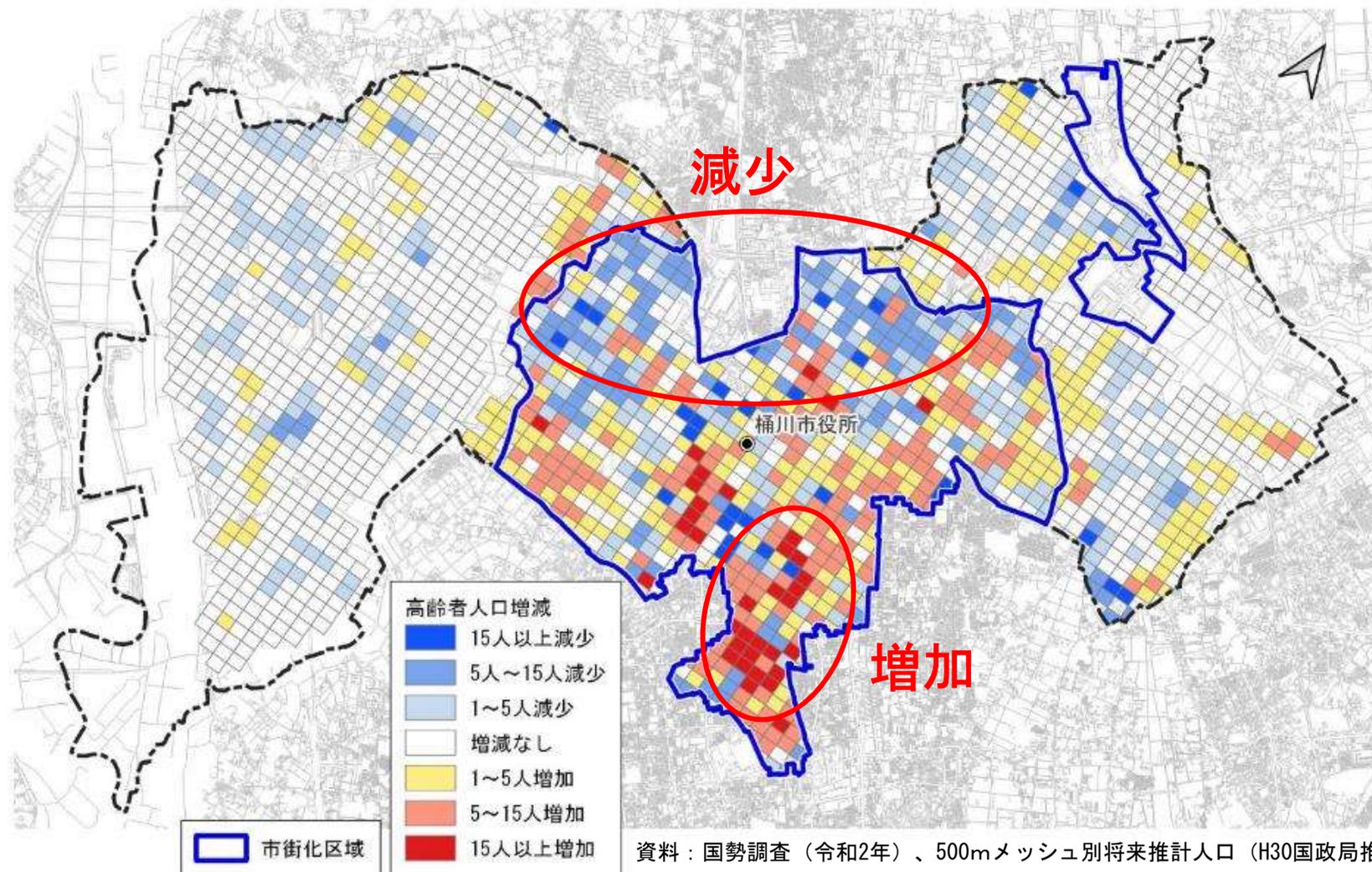


資料：国勢調査（令和2年）、500mメッシュ別将来推計人口（H30国政局推計）

■ 高齢者人口動向

- 令和2年から令和22年推計値による20年間の増減数では、市街化区域の北側は全体的に高齢者が減少し、南側は増加がみられます。

【高齢者人口増減 令和2年（2020年）⇒令和22年（2040年）（100mメッシュ）】

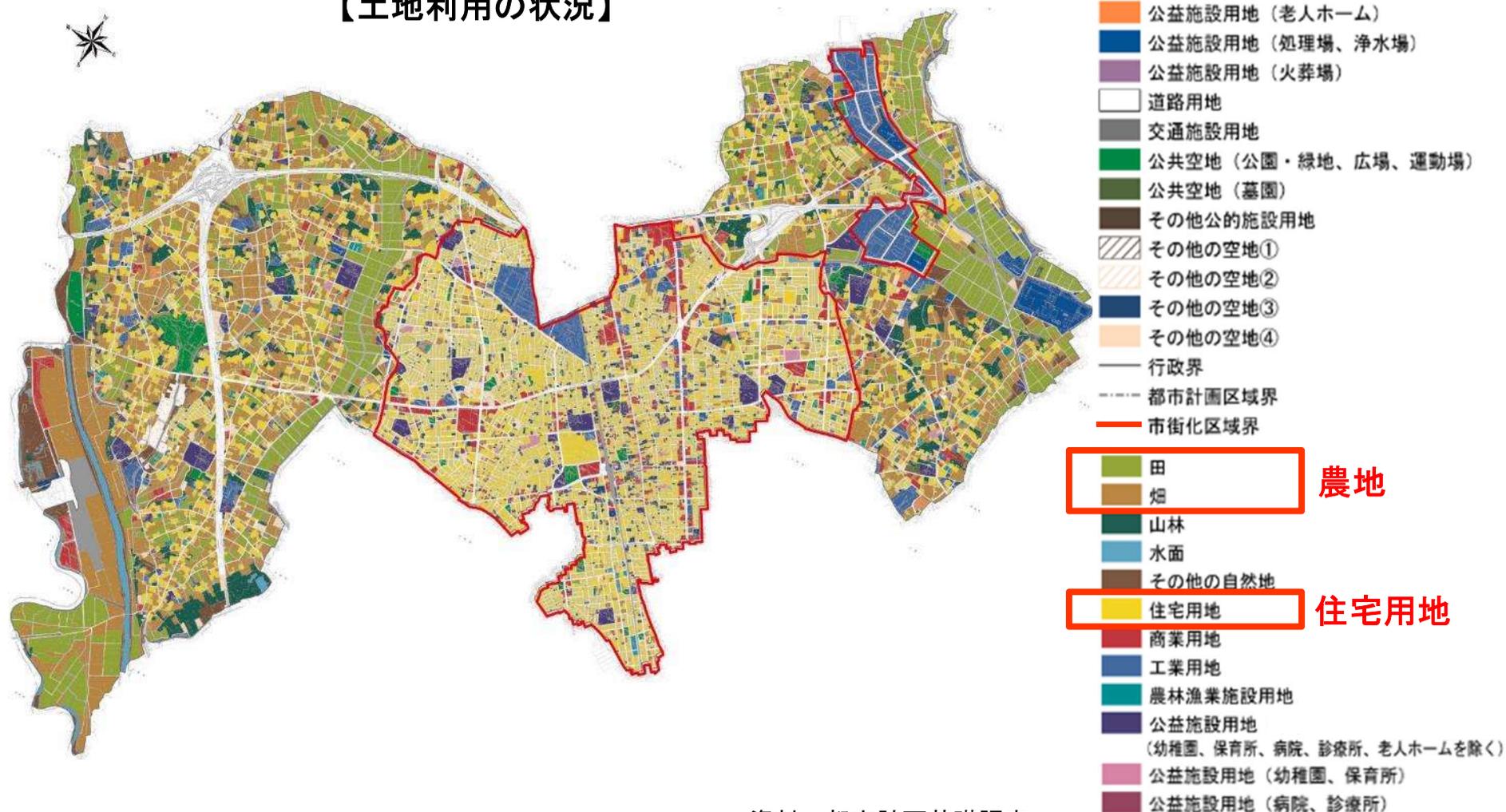


資料：国勢調査（令和2年）、500mメッシュ別将来推計人口（H30国政局推計）

■ 土地利用

- 市街化区域の土地利用の構成比は、住宅用地が46.0%で最も多くなっています。
- 市街化調整区域の土地利用の構成比は、農地（田・畑）が39.8%で最も多くなっています。

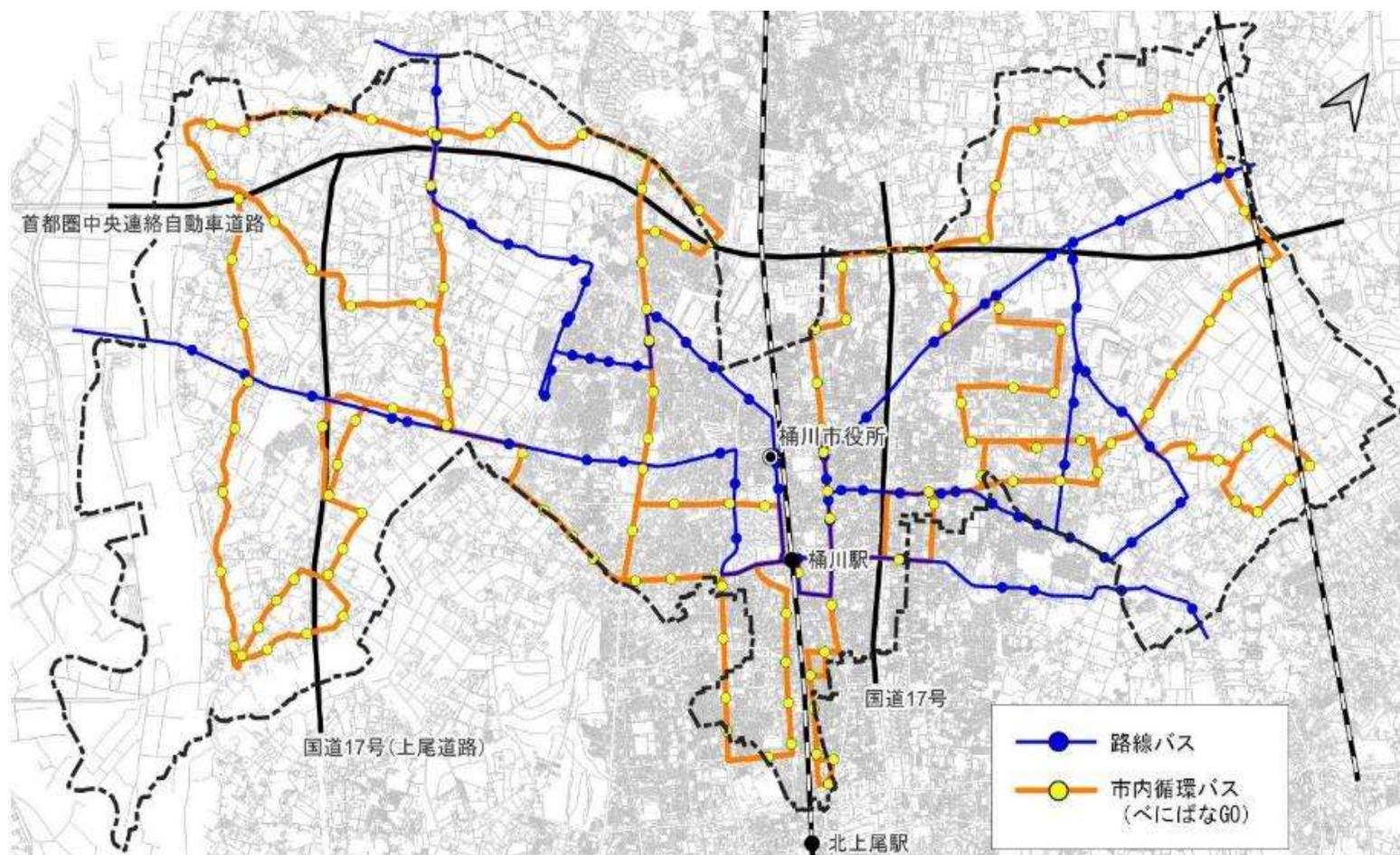
【土地利用の状況】



資料：都市計画基礎調査

■バス

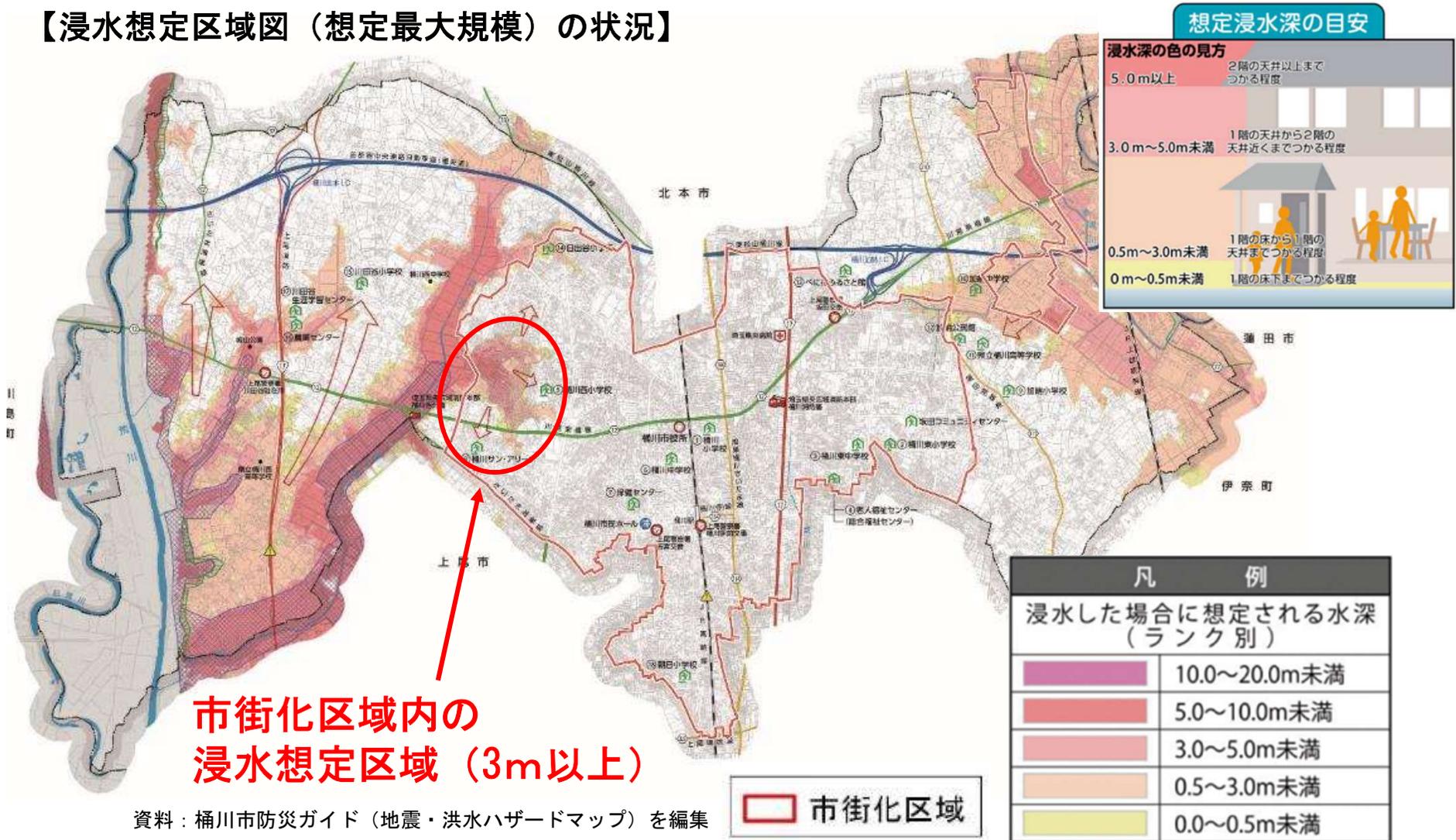
- 路線バスは、東武バス、川越観光バス、朝日バス及び丸建バスにより、桶川駅を起終点とし、5路線が運行しています。
- 市内循環バスは、べにばなGOが桶川駅を起終点とし、10系統が運行しています。



■ハザードエリアの状況

- 桶川市洪水ハザードマップによると、市内には「**浸水想定区域**」が存在し、江川と近接している市街化区域の西側の一部にも3m以上浸水する地域がみられます。

【浸水想定区域図（想定最大規模）の状況】



■ アンケート実施内容と回収状況

- 市民の意向を把握するため、アンケート調査を実施しています。

対象者	桶川市に住民登録をされている 18歳以上の市民3000名 (無作為抽出)
調査方法	郵送配布・郵送回収
実施時期	令和5年9月13日 ～10月31日
回収結果	1327件 (回収率 44.2%)

桶川市の「これからのまちづくり」に関する アンケートのお願い

平素より市政にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。
本市では、全国的な人口減少や少子高齢化が進む中であっても、利便性が高く、安全安心で、快適な暮らし続けられるまちづくりを進めていきたいと考えています。

つきましては、「これからのまちづくり」について、皆さまのご意見、ご要望をお聞かせいただくためのアンケート調査を実施することになりました。

調査結果は、本市における将来のまちづくりの指針となる「桶川市都市計画マスタープラン」及び「桶川市立地適正化計画」策定の参考とさせていただきますので、何卒調査へのご協力をお願いいたします。

この調査票は、本市に住民登録をされている18歳以上の市民3,000名を無作為に抽出し、お送りしています。

なお、この調査票は統計的に処理し、目的以外には利用いたしません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

令和5年9月 桶川市長 小野克典

《ご記入にあたって》

- ご住所・お名前のご記入は不要です。
- あて名のご本人がご自分の考えでお答えください。なお、ご本人が記入できない場合は、ご家族などがご本人のお考えを聞きながらご記入ください。
- 調査票の設問にしたがって、鉛筆か、黒または青のボールペンではっきりとご記入ください。
- 回答時間の目安は、10分程度です。
- 令和5年10月2日(月)までに、記入した調査票を同封の返信用封筒に入れて、お近くのポストに投函してください。※切手は不要です。

<問合せ先>

桶川市 都市整備部 都市計画課 〒363-8501 桶川市泉1-3-28
電話 048-788-4949 / FAX 048-786-9866 / E-mail: toshikei@city.okegawa.lg.jp

■ アンケート設問項目

<p>1 属性</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 性別、年齢、居住地域、職業 • 日常生活での主な行動や施設の利用状況等
<p>2 お住まいの周辺のこと や施設の利用について</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 生活に必要な施設の場所、利用頻度 • 中心市街地や拠点となる地区に欠かせない施設 • 自宅周辺に欠かせない施設
<p>3 日常の交通手段について</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 普段よく利用する交通手段 • 公共交通の利用頻度
<p>4 現在、本市で取り組んでいるまちづくりについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 整備中の駅東口の交通機能、周辺環境等について • 桶川駅東口周辺地区の市有地に必要な施設 • 整備中（再整備）の公園について • 公園に必要な施設 • スポーツ施設に必要な施設
<p>5 これらからのまちづくりについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 防災の観点からのまちづくりの取り組みとして特に重要なこと • 交通、道路整備の取り組みとして特に重要なこと • 人口減少や少子高齢化が進むことによる不安 • 本市が目指すべきまちの将来像

■ 達成度評価

- 現行の都市計画マスタープランの施策の進捗状況を把握するため、達成度評価を行います。

評価の対象	「地区整備の方向性」 「地域整備の基本的考え方（道づくりの方向性）」 に示されている施策（全124項目）
評価の基準日	令和5年度末（年度末までに達成が確実なもの）
実施時期	関係課での評価 11月上旬～下旬 集計・とりまとめ 12月～